



若竹だより



運営基本理念

報四恩

父母の恩・社会の恩

郷土の恩・大自然の恩

- 【私たちの願い】 ①よろこんで与える人間となろう ②いのちを大切にする人間となろう
③こころ静かに考える人間となろう ④使命に生きる人間となろう ⑤規律ある幸せ喜ぶ人間となろう

法人の社会貢献事業 ①四国八十八カ所巡礼者無料宿泊&お接待 ②講演会・シンポジウム等

【巻頭言】

新学期

園長 宮竹 恒

令和3年は、新型コロナウイルス第3波、寒波の中でのスタートとなりました。

年末年始の大雪で被害に見舞われた地域の方々に心より御見舞い申し上げます。

学園では、幸い大雪に至らず、雪が薄っすら積もる程度であり、子どもたちが残り雪で遊ぶ姿も見られました

子どもたちは、冬休みを元気に過ごし、新学期を迎えることが出来ました。大変有難いと思います。

新型コロナウイルス感染が拡大する中、子どもたちの日々の生活に気を配る日が続いております。子どもたちの外出・帰省についても保護者の皆様方に「おうちで出来る予防対策」のご協力頂いております。

学園では、年初より新型コロナウイルス感染予防対策として、食堂に飛沫防止パーテーションを設置いたしました。子どもたちに説明をした所、思った以上に柔軟に対応することが出来ました。

例年であれば出来ることが、思うようにできない中、子どもたちは、学園の園庭でサッカーやバトミントンをして過ごす姿が多く見られます。寒い日も子どもたちは比較的薄着で元気に遊んでおります。

さて、子どもたちに、今年の抱負を聞いてみますと、「志望校に合格する」「友達と仲良くする」等の答えが返ってきます。

中学3年生と高校受験の話になった際、「今年の3年生はすごいよね」と、話しすることがありました。新型コロナウイルスの影響で、楽しみにしている様々な行事が出来ず、修学旅行の内容が変わり、受験の在り方も変わる中、環境の変化に負けず自分の希望を実現する為に頑張っている姿を見て、感じたことを伝えました。

中学3年生のA君と話をしていると、過去の先輩の話をしてくれることがありました。例えば、「遊びに誘おうと、部屋に声をかけに行ったら、勉強をしていた」、「隣の部屋の3年生が英語の発音を毎日しているのが聴こえた」、「毎日、学校で残って勉強をしていた」等と話してくれました。A君に、今、頑張っていることは、今度は後輩が見てくれているかもしれないことを伝え、「そうかもしれない」と、頷いていました。

A君との話は、勉強のことになりますが、子どもたちにとって、一歩前を歩く先輩の存在はとても大きなものであると思います。

スポーツや遊びの中でも中学3年生の存在は大きく、年少児が成長した際に思い出として語ってくれることと思います。

コロナ禍の中、学園で経験できることは、日々の生活にあることを改めて感じています。

中学3年生が希望する進路を実現し、在園生に祝われ、笑顔で卒業を迎えることが出来るよう日々の生活を職員と一緒に支えていきたいと思っています。

—了—

青峰・若竹学級だより

3 学期始業式

1月8日、3学期の始業式を行いました。新しい年のスタートにふさわしい笑顔や決意に満ちた顔がたくさん見られました。

下笠居中学校の大江校長からは、「新しいことに挑戦する1年にしましょう。目標をもち、1日1日を大切に過ごしてください。」とお話がありました。



書き初め

小中合同の新春書初め大会では、「初春」「成長」「希望」「花鳥風月」などの言葉を選んで書きました。久しぶりの毛筆でしたが、集中して取り組み、見事に完成させました。作品は校舎1階玄関横に掲示しています。



散策

中学校の総合学習で、不見の滝まで散策に行きました。道中の滑りやすい足下に苦戦しながらも全員滝に到着し、自然の雄大さに感動していました。

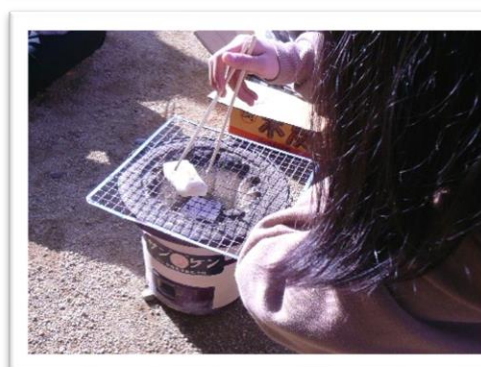
凧揚げ

小学校の図工の時間に、紙とストロー、毛糸を材料に凧を作りました。左右対称の形になるように丁寧にはさみを使い、セロハンテープはできるだけ短く切って、重くならないようにしました。自分の好きな文字や絵をかく子どももいました。



餅焼き

小学生が七輪を使った餅焼きに挑戦しました。炭をおこすためにうちわで風を送ったり、焦げないように何度も様子を見たり、工夫をしていました。中学生の分も焼き、休み時間には小中学生で楽しそうに食べていました。



がんばれ受験生!

中学3年生の私立受験が、1月9日(土)からスタートしました。中学3年生は、受験に備えるため、本年度より本人の意志で塾へ通っています。塾へは、学校が終わった放課後、年末年始休業中は、昼食後の時間で、職員による公用車送迎を行っています。塾に行く車内でも普段と違う緊張感をもち、また、子どもが主体的に学習に向かおうとする姿が印象的でした。

受験後に塾の送迎をしている時に聞くと、「塾で学習した問題と同じような問題が、出題された。」「塾の先生が、基本問題を優しく教えてくれたから、分かりやすかった。」などの感想がありました。

受験に向けた学習は、寮室でも行われており、塾へ行くことで、分からないことをすぐに相談できる人が身近にいたことが、学習への意欲化につながった様です。

受験後の合格をつかんだ子どもに感想を聞くと、喜びだけでなく、落ち着いた様子も伺え、塾通いと受験を通して成長した姿を実感しました。2月以降にも受験を控えた中学3年生がいます。体調を崩さないようにして、子どもたちの最高の進路決定ができるよう、今後も支援していきたいです。

大晦日は焼肉でした。

12月31日大晦日の日の晩に焼肉を食べました。例年は年越しそばを食べていましたが子どもから「肉が食べたい」との要望があったので今年は豪勢な食事となりました。普段以上にたくさんのお肉が食卓に並んだことで



子どもたちはテンションが高くお腹いっぱいになりました。

年越しそばは、夜食として食べることにしました。お腹がいっぱいで食べら

れるか心配でしたが嬉しそうに完食している子どもが多くて驚きました。

学園では、夜食がないので

それだけでも特別感があり、ハイテンションでした。笑顔で新年が迎えられてよかったです。



元旦に、根香寺まで初詣に行きました。みんな真剣にお参りをしていました。



おみくじを引いている子どもたちもおり、結果に一喜一憂していました。みんなの今年一年の運勢が大吉になりますように。

お好み焼き作ったよ。

1月2日(土)の昼食は、ホットプレートを使って子どもと一緒に、お好み焼きを作りました。



園生は、お好み焼きが焼きあがるまでに待ちきれない様子でした。焼けたかどうか確認する作業や、自分でお好み焼きを上手にひっくり返せることが嬉しかったようで、みんな作りながら笑顔になっていました。

また、子ども達は焼きながら、自分の家でお好み焼きをした時の出来事を思い出したようで、ある子どもは「俺のじいちゃんはお好み焼きの焼き方には厳しかったんや(笑)」と誇らしげにエピソードを話してくれました。とても幸せな時間を共有できた感じがしました。

児童施設で介護？

平成16年から学園にきてくれた、17才の柴犬ライとマロン。人間の年齢でいえば、もう98才です。特にライは、年末から目も余り見えてないようで、足もフラフラしうずくまり、ブルブル震えて動かなくなっていました。お医者様からは、「老犬なので、認知症もあると思います。気を付けてみてあげてくださいね。」と言われました。さあどうしよう！すると職員が要らなくなったタオルや服を用意してくれたり、ペットボトルに温かいお湯を入れて湯たんぽ変わりにしてあげたり、水分補給は、調味料入れを哺乳瓶の代わりにして飲ませてはどうか、餌も、離乳食してはどうかなど、どんどんアイデアを出してくれ、冬使用の寝床を作ることがアツと言う間にできました。



動物を飼育するにあたり、命の尊さ、責任感、感受性を豊かにします。また動物は、言葉をしゃべることができません。「言葉」以外の方法で会話しないといけないので、一緒に過ごすなかで、気持ちを察していかないといけません。それが感じ取れるようになれば、次に何をしないといけないのが解るようになります。それが本当に正しいのかを考えるようになり、「問題解決能力」を学ぶことができます。

犬係りの子どもも寒い中、毎日の散歩・餌やりと本当に親身になってお世話をしてくれました。犬の異変に気付いてくれたのも子ども。病院に連れて行ってあげてと申し出てくれたのも子どもでした。



最後まで、できるだけのお世話をしていこうと思います。

1月行事

1日	初詣
19日	包丁の使い方勉強会
20日	防災訓練(夜間)
21日、22日	誕生日ケーキ作り
18日、25日、26日	買物外出

在籍人数

令和3年2月1日現在

区分	県内(人)	県外(人)	合計(人)
小学生	10	2	12
中学生	13	3	16
合計	23	5	28

編集後記

今年は、新型コロナウイルスの影響で年末年始も学園内で過ごすことが多かったのですが、学園内で出来ることを考え、工夫しました。少しでも楽しいお正月になっていたら嬉しいです。
(大室)



第322発行

〒761-8004 香川県高松市中山町 1501-192

T E L 087-882-1000 F A X 087-882-1160

ホームページ <http://4on.or.jp>

Eメール wakatake@4on.or.jp

編集兼発行者 若竹学園 編集委員

発行責任者 宮竹 恒

